



令和5年度 羽田中学校だより

天空の橋

令和5年4月21日 新年度1号

目指す生徒像…

Heart

Never Give Up

Do Our Best

大田区立羽田中学校

令和5年度も順調にスタートしました ー保護者・地域の皆様に一

昨年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、令和5年度の始業式を6日に、入学式を7日に挙行し、新たな年度が動き出しました。始業式に臨んだ2年生と3年生の表情は、新たな年度を迎えたという自覚の表れか、引き締まって見えました。また、入学式に臨んだ1年生はとても初々しく、希望に満ちた顔つきでした。

今年度、生徒たちが、日々充実し、楽しい中学校生活を送れますよう、お力をお貸しいただければ、幸いです。

次に始業式講話と入学式式辞を掲載いたします。

《始業式 校長講話》

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

今日は始業式、一年の一番最初なので、私が皆さんに一番伝えたいことを話します。学校がどのような人を育てたいか、というような話です。

実は、学校が何のためにどのような教育をするかは、「教育基本法」という法律で決められています。それは「人格の完成」と「民主的、平和的な国家・社会の形成者としての資質育成」です。言葉がとても難しいですね。私がとても大事だと思っているのは、このうちの「社会の形成者」を育てるという事です。

「社会の形成者」 形成……「形づくる」という意味です。

「社会形成者」ということは、社会を形づくる事が出来る。つまり、誰かがつくった社会の中で誰かに従って生きるのではなく、自分たちで自分たちの社会をつくっていくことができる人を育てる、ということです。

中学校は、その社会をつくる能力をつけるための練習の場です。ですから、皆さん自身の社会、つまりクラス・学年、そして学校を皆さん自身でつくることを体験しながらつくり方を学ぶことが必要です。もちろん、まだ中学生で、練習なので、先生たちがアドバイスや指導をします。むしろ、先生たちと一緒に、つくっていくという方が実際に近いかもしれません。

ただし、学校をつくっていく主役は皆さんです。主役として、自分たちで自分たちの社会をよりよく、つくっていくという気持ちがなければ、「社会の形成者」となる練習になりません。

皆さんの中には、「学校がつまらない」と思っている人がいるかもしれません。でも、つまらない状態と不満を言うだけだとしたら、自分たちで自分たちの社会をつくっていくことにはなりません。「社会の形成者」としての活動するのなら、学校が楽しくなるよう、自分たちで改善していけばいいわけです。

もちろん、数学・英語・理科・社会など授業はやらなければなりません。これも「社会の形成者」として必要な能力だからです。でも、行事や、学級会、帰りの会など工夫できるところはいっぱいあります。いろいろな条件の中で、自分たちで工夫できるようにしていくことがまさに、社会の形成者としての資質を育てることになります。

もう少し考えてみます。

皆さんが皆さん自身が社会をつくるとは、社会をつくるための役割をもつということです。誰かがやってくれるのを待つのではなく、みんなが社会をつくる役割を受け持たなければ、社会をつくることはできません。ぜひクラスや学年、学校の中で、役割を持って自分たちの社会をつくっていきましょう。

そこで、皆さんにお願いがあります。皆さん自身が羽田中をつくる一員としての役割としての行動です。

その、一つ目は、挨拶です。

皆さん気づいているでしょうか。挨拶には、二つの種類があります。

一つは、気持ちが通いあう友だち、知り合いとの自然な挨拶です。お互いに挨拶をすると気持ちがよくなるだけでなく、挨拶をすることでより仲良くなれます。

もう一つの挨拶が、社会の中で受け持っている役割としての挨拶です。例えば、飛行機に乗るとき、CAさんが挨拶をしてくれます。CAという役割としての挨拶です。同じ人でも、CAとして働いているときには、お客

さんみんなに挨拶をしますが、CAとしての役割をしていないときに、街中、私服のまま、通りがかりの人みんなに挨拶をしていたらかなり変です。

この役割としての挨拶は、大人になるためにはとても重要です。飛行機を運航することに自分が役割をもっているという自覚がなければできません。CAという仕事が好きで、誇りをもっていればいるほど大きな声で自信をもって挨拶ができます。そして、その航空会社や飛行機をお客さんに好きになってもらえます。挨拶ができるようになると、航空会社の一員として、そこが自分の居場所となり、自分自身の気持ちも安定します。大人も自分が安心する居場所がないと、生きていくのはつらいのです。

役割としての挨拶では、この3月に感激した出来事がありました。

ある講師の先生が、他の学校との関係で、今年も羽田中に来るかどうかが悩んでいました。羽田中に来たいのだけれど、うまく時間があわないのです。その先生が、羽田中から帰るとき、ある部活の生徒から大きな声で挨拶をされて、「今年も羽田中に来ること」を決意してくれました。「こんないい学校はない」と感動し「やっぱり、無理をしてでも羽田中に来たい」と思ってくれたのです。この話を聞いて、先生はとてもうれしく思いました。

挨拶をしてくれたのは野球部の皆さんです。野球部の皆さんは、野球部としての役割、羽田中の生徒としての役割をしっかりと果たしていたことになります。本当にありがとう。

野球部以外の皆さんも、羽田中の生徒はとてもよく挨拶をしてくれます。きっと、羽田中に誇りをもってきているのだと思います。これからもぜひ、大きな声で挨拶をお願いします。

二つ目は、ボランティアです。この3年間はコロナの影響で地域のボランティア活動ががありませんでした。でも、今年は地域の中でのボランティアが再び行われると思います。ボランティアは、中学生として地域の中で役割を体験するいい機会となります。中学生としての役割とともに、地域社会の一員としての役割もすることになり、地域の一員としての居場所ができます。

4月の終わりには、ガーデンパーティが行われます。地域からはボランティアを求められています。ぜひ、多くの人に参加してほしいと思います。

少し、難しい長い話をしてしまったかもしれません。

何より「挨拶は気持ちいい」「ボランティアで人が喜んでくれると楽しい」です。

そして、それが自分たちが主役として「社会をつくる」役割を果たすことになります。

ぜひ、積極的に行動しましょう。

以上で、始業式の話を終わります。

《入学式 式辞》

色鮮やかな躑躅（ツツジ）の花が街を彩る季節となりました。

本日、令和5年度入学式を迎えた80名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんを心より歓迎します。

みなさんが入学したこの羽田中学校は、70年を上回る伝統を受け継ぎ、多くの地元の皆様から愛されている学校です。羽田中学校の生徒であるという自覚と誇りをもち、上級生と共に羽田中学校をよりよい学校にしていってほしいと思います。

さて、本日の入学式にあたり、3年間の中学校生活のあと、「こうなってほしい」と期待することをお話しします。

それは、「この羽田中学校が、“心のふるさと”、“心の安心基地”になる」ことです。

みなさんは将来、大人になり、社会に出ていくこととなります。社会の中では、いつも楽しいことばかりとは限りません。辛いこと・苦しいこともあると思います。そのとき、中学校の生活を思い出すと「気持ちが落ち着く」「元気になる」「また、頑張ろうと思える」、中学校生活を通して羽田中学校がそんな存在になってほしいのです。

人は、本来知的好奇心が旺盛な生き物です。自分が知らない未知のものでも、興味をもったものには、それを知るためのチャレンジ・冒険をしようとしています。その好奇心が人類社会の高度な文明をつくってきました。

しかし、人はドキドキする不安が大きいときには、チャレンジ・冒険はできません。できるだけ新しいことはせず、自分が傷つかないように行動します。チャレンジ・冒険をするためには、心が安定していなければいけないのです。

赤ちゃんは、親に愛され気持ちが安定していると、ご両親から見守られながら冒険をしようとしています。少し遠くの初めてのものに触れようとハイハイをしていきます。そして、ハイハイをして進むと、振り返って親が見守っていることを確認し、さらに冒険を続けます。親が見ていないと、不安に駆られて泣いたり戻ったりします。親の存在が冒険をするための“心の安心基地”となっているのです。

大人になっても、いろいろなことにチャレンジするためには、“心の安心基地”が必要です。心が安心する場所がないと、冒険をして自分の世界を広げることができません。不安があると、前に進めません。そんなと

きの「安心の基地」として中学校の思い出が機能してほしいのです。

では、中学校が将来の「心の安心基地」になるためには、何か必要なのでしょうか。友だちと楽しく雑談をした思い出。みんなでつくりあげた行事。懸命に取り組んだ部活動、そして学習。決して、楽しかったことだけが「心の安心基地」になるわけではありません。勇気を出して、チャレンジしたこと。苦しくても、乗り越えたこと。それが自信となり、将来の「心の安心基地」となっていきます。チャレンジを避けていると、返って将来の「心の安心基地」ができません。

中学校生活には、チャレンジする機会、挑戦すると世界が広がることはいっぱいあります。部活動、生徒会委員会活動、行事での活動。ぜひ、多くのことにチャレンジ・挑戦してほしいと思います。

とはいえ、今入学を迎えた皆さんは、期待とともに不安もいっぱいだと思います。不安が強ければ、チャレンジはできません。今はまだ中学校生活でチャレンジをするための「安心基地」がない状態かもしれません。

まずは、中学校が安心できる場所となるよう取り組みましょう。小学校の友だちだけでなく、男女を問わずできるだけたくさんの人と安心して、会話・雑談ができるようになりましょう。まずは、朝学校に来たときに勇気を出してクラスみんなに挨拶をすることから始めてください。挨拶をされた人も勇気を出して挨拶を返してください。挨拶が返ってくると安心感が増します。そうやって、みんなでみんなの安心感をつくっていきみんながチャレンジ・冒険ができる集団をつくっていくのです。

そして、安心できる仲間とともに、多くのことに挑戦し、自分を成長させていってほしいと願っています。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお慶び申し上げます。本日80名の新入生をお預かりし、3年後には心も体も大きく成長した姿で立派に卒業できるよう、指導・支援に全力を尽くしてまいります。

「生徒の健全な成長は、学校と家庭と地域が一体となって、子どもたちを見守り、育むことで実現できる」と考えております。

保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら、こどもたちの心身ともに健やかな成長のために全教職員が協力して教育活動を推進してまいりますことをお誓いし、式辞といたします。

1学期の行事について

1学期の行事予定についてご紹介します。

◎ 体育祭 5月27日(土)

コロナ禍前に戻し、生徒の思い出に残る体育祭としたいと思います。

◎ 修学旅行 6月6日(火)～8日(木)

校外活動の集大成としての修学旅行。

京都・奈良での班行動が中心となります。大きな成長を期待しています。

◎ 大田区学習効果測定 4月28日(金) 1～3年生 国語・社会・数学・理科・英語

期末考査 6月21日(水)～23日(金)

一昨年度より本校は学習習慣定着に力を入れました。結果として、東京都の平均より家庭学習をする学校となっています。今年度も、引き続き学力向上を目指した指導を続けます。

家庭学習習慣定着に向けては、ご家庭での指導も重要です。ご協力をお願いします。

6月10日、17日の土曜日は、期末考査に向けた土曜学習教室も実施します。自分で学習することが難しいお子さんにはぜひ参加するようお声かけ下さい。

◎ 5組移動教室 6月22日(木)～23日(金)

1泊2日での実施となります。通常級も10月に実施予定です。短い時間を有効に活用して、集団育成をしていきます。

◎ 教育相談 7月5日(水)～12日(水)

いわゆる3者面談です。放課後の時間に御来校いただき、1学期の学校での様子の報告、夏休みの過ごし方・進路や学習などの相談をします。